

農業版BCP作成者の声



静岡県掛川市 株式会社鈴木農園

(代表取締役 すずき はるまさ 鈴木春雅さん)

経営規模：いちご2ha

補助事業のポイント加算にもなるからと、中小企業診断士から勧められたことをきっかけに、農業版BCPを策定しました。

策定に当たっては、**起こりうる自然災害として、J-SHIS（地震ハザードステーション）や市のハザードマップを参考に、地震や津波を想定しました。**その上でBCPの取組として、災害時の人員体制整備や災害に備えたハウス設備の補強等のほか、**土地勘のない一部従業員に配慮した避難場所や通勤ルールの設定、自身が不在時の対応マニュアルの作成をしています。**

自然災害等のリスクへの備えをBCPとして具体化することは、人命の安全確保や事業の早期復旧に向けた取組の優先順位も明確になるので、近隣の農業者にもBCPの策定を勧めたいと思っています。

農業版BCP作成者の声



岩手県奥州市 高橋学さん

経営規模：りんご 4.1ha

NOSAIからの情報で農業版BCPを知ったことをきっかけに、りんごは自然災害による被害を受けやすい作物であることから作成することにしました。

BCPを作成したことで、先代から引き継いだ事業継続に関する知識を **目に見える形で記録でき、収穫時期の違う品種の導入や複数の園地で栽培するといったリスクの分散化を図ることができました。**これから農業版BCPの普及が近隣の農家にも広がれば、りんご産地として、リスク管理に関する共通認識を持つことができるのではないかと思います。

激甚災害指定の適用など災害が起きてからの措置ではなく、身近な農業版BCPの活用で、より安心できる農業経営を目指すことができると思います。



かなうち えいち

山形県最上郡舟形町 叶内栄一さん

経営規模：水稲 21ha、そば 5ha、たらの芽 30a

補助事業採択時のポイント加算項目となっていたことから農業版BCPについて知り、私自身、過去に水害を経験したため、策定することになりました。

家族や雇用者との間では漠然としていたリスク管理の取組が、BCPを策定することで、災害時の連絡体制や避難場所、日頃から準備すべき備品等の確保について、より明確かつ具体的なものとなりました。

近年も全国で突発的な自然災害が相次いで発生しているため、一度BCPを策定したことで漫然とせず、改善点があれば日頃から見直しを行っていきたいと思います。

叶内さんの作成したBCPを拝見すると、「**近隣の農業者との連携体制**」や「**農協との被災時の出荷対応**」について、既に関係者と協議済みの取組であっても、決定事項だからと言って省略することなく、きちんとBCPに盛り込まれています。

これなら関係者の誰もが、緊急時の取組を戸惑うことなくスムーズに行えるようになるよね！



保険課広報キャラクター
「しゅうほちゃん」

農業版BCP作成者の声



埼玉県上里町 株式会社 関東地区昔がえりの会
代表 小暮郁夫さん

経営規模：野菜 50ha

雪害や台風によりハウスなどの施設や農作物に甚大な被害を受けたことをきっかけに、リスク管理の重要性を改めて認識し、事業継続計画（BCP）を作成しました。

BCP作成後も、**計画の見直しや従業員の訓練、リスク対策を継続的にを行っています**。2022年には降雹の被害に遭いましたが、リスク対策として、**同じ品目を町内の異なる区画で栽培していたことで、全滅を回避することができました**。

リスクを回避した経営計画を作ることができ、強い経営に繋がると思うので、BCPの作成はおすすめです。

山形県東置賜郡川西町 寒河江靖明さん

経営規模：水稻17ha、秋冬ねぎ6a、おうとう35a



町役場の職員から農業版BCP（事業継続計画）について説明を受け、自身も農業経営に必要であると感じたため、作成することにしました。

農作業は家族で協力しながら行っていますが、BCP作成を通じて**緊急時の対応が共有されたことにより、令和4年の8月の豪雨において、農業機械の移動等を迅速に行えて浸水被害を未然に防ぐことができました**。

何より、農業版BCPの作成を行うことで、緊急時に人命を守ることにつながるので、作成をおすすめします。

農業版BCP作成者の声



埼玉県秩父市 株式会社 和銅農園
代表取締役 田口直樹さん

経営規模：イチゴ60a

秩父農林振興センターから農業版BCP（事業継続計画）の作成を勧められ、今後経営規模を拡大する上で大切なリスク管理を考える良い機会だと考え作成しました。

BCPの作成にあたり、雪害による施設の損壊や停電を想定した点検を行いました。漠然と思っていたことだけではいざというときにリスクを回避できないと感じ、作成したことで安心を得ることができました。具体的には、**農業機械の情報や、従業員の連絡先など情報の一元化や、初動対応からの役割分担を明確化したことで、自分が不在でも従業員なら誰でも対応できるようになりました。**

また、**緊急時の対応について、24時間以内と24時間以降にフェーズを分けて考えたことで、より行動が明確化されるなど、作成していてとても有意義でした。**

福井県坂井市 ICHIGOOJI株式会社
代表取締役 池田天瑠さん

経営規模：イチゴ28a



北陸農政局福井県拠点から農業版BCP（事業継続計画）の紹介を受けたことをきっかけに、災害対策を考える良い機会だと思い、作成することにしました。

ハウスを新設する際に、福井県やJAと相談しながら発電機や資材を導入しましたが、**BCPの作成を通じて、これまで必要性をあまり感じなかったこれらのものが災害時に不可欠であると実感できました。**また、**災害発生時の初動対応とその後の事業継続対応について、それぞれの対応方針を従業員と話し合いながら具体的に決めることができたのもよかったです。**

新規就農者、特に県外から就農した人は、最初は作物をつくることに精一杯で地域の災害情報に鈍感だと思うので、BCP作成が良いきっかけになると思います。

農業版BCP作成者の声



山形県遊佐町

池田恒紀さん

経営規模：水稲 8 ha、アスパラガス 7.5a

米部会に属し米づくりを行う中で、長年交流のある生活クラブ生協が推進する事業継続計画（BCP）の取組への参画を契機に、BCPが自身の経営だけでなく部会の構成員にとっても有用と感じたため、農業版BCPを作成しました。

BCPを作成したことで、**自家発電機などの災害発生時に不足している設備を確認できたため、導入を検討しています。**また、**近隣の農家やJAと、災害時における地域の連携の在り方**についても相談しています。

生活クラブ生協などの取引先からは、BCPを作成することで**災害時でも安全・安心な農作物を供給できる体制について評価**を受けております。

岡山県倉敷市

木下良一さん

経営規模：花き 25a（スイートピー）



東日本大地震で被災農家の施設が停電になり、ボイラーも稼働できず作物に被害が出たという話を聞き、自身の花きの施設栽培に同様の災害があった場合の事を考え、非常用自家発電機を導入すると共に農業版BCPを作成しました。

BCPは「地震」「台風」「大雪」「感染症」「気候変動や病害虫」の災害種類別に、**インフラの寸断、栽培施設の破損、感染者発生などを想定して策定**しました。例えば、**停電時の自家発電機の稼働や、施設の復旧に必要な資材の発注、欠員発生時の同業農家への派遣要請などの行動手順を取り決めて**います。

県独自のBCP認定制度の認定を受けましたが、**自身の経営を客観的に再点検できる良い機会**なので、他の農業者のBCP策定の契機になればと思います。

農業版BCP作成者の声



滋賀県近江八幡市

助野正幸さん

経営規模：水稲3ha、麦・大豆7ha

今年の**田植え時期に父が病気になりました**。そのときちょうどヘルパーの手配ができず、農作業を含め様々な混乱があったことがきっかけで、**事前に対応を書いておきたい**と思っていたところ、市役所に農業版BCPの様式を教えてもらい作成しました。**BCPは自然災害のみならず、主たる従事者が就業できないときに役立ちます**。

作成の際には、最初からできるだけ多くの不測事態に対応できるものを目指すというよりは、**まずは身近なことから考える**ようにしました。今後自身が所属する農事組合法人にて勧めていくことを考えています。

奈良県五條市

池下輝子さん

経営規模：乳牛50頭



過去に大規模な台風被害を受けたことやBCP作成が県指導農業士会のテーマであることから、中小企業診断士の協力の下に農業版BCPを作成しました。

BCP作成の際には、台風による停電、コロナによる輸入飼料調達の困難化という**リスクを想定し、「品質低下は仕方ないが、乳牛は生かし続ける」の方針の基で、家畜共済の補償内容を確認・再認識**できたとともに、**発電機を予めリース会社と契約し停電に備えることができました**。さらに、**飼料の種類ごとに調達会社をリスト化し、リスク分散を図る**ことにしました。

跡継ぎの息子と経営状況を把握・共有する契機になったことも良かったです。

農業版BCP作成者の声



愛知県田原市 伊藤農園 伊藤和人さん

経営規模：キャベツ 440 a

農林水産省の補助事業の中で、採択時のポイント加算項目となっており、**災害対策について見直す良い機会**だと思いました。以前から災害への準備はしていましたが、BCPのシートにまとめることで、各項目をより現実味を帯びたものとして捉え、全体を俯瞰することができました。

災害が起きても、具体的に計画を立てずともその場で何とかなるとしてしまいます。ですが私は今回BCPを作成し、**経営主と従業員との情報共有の不足や災害時に自身がやるべきことが多いことに気づき、役割分担を考え直そう**と思いました。



福井県坂井市 株式会社三つ星農園 代表 富田美和さん

経営規模：白ネギ 8ha、大玉トマト 50a

近年自然災害のニュースが多く、自身もいつか被害に遭うのではと心配になりリスク管理の必要性を感じたことや、地元農業共済組合からの勧めもあったことから、農業版BCPを作成しました。

作成する中で、例えば停電時には発電機を借りることを漠然と想定していましたが、**具体的な設置場所や使い方等まで詳細に検討**することができました。また被災時には**人命を最優先に考えていますが、今回の検討で被災後の出荷体制についても考えるきっかけ**となりました。今後は**年に一度、従業員と見直し**ながら、**より実効性の高いBCPに進化**させていこうと思います。

農業版BCP作成者の声



京都府八幡市 株式会社 おさぜん農園
代表取締役 長村善和さん

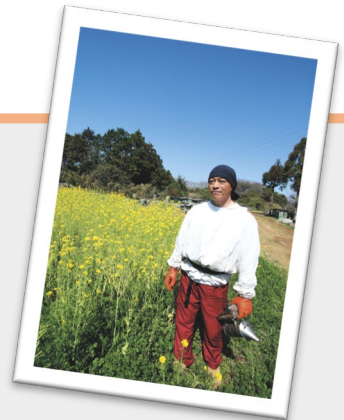
経営規模：イチゴ82a（ハウス21棟）

頻繁に農業用用水があふれて水害が起こっていたため、農業版BCPには、電気機器が水につからない対策や、施設栽培の配管が破裂した時の対応方法も記載し、従業員に共有しました。今まで自分しかできなかった水害対応が、今では従業員も対応できるようになり、作成して良かったと思います。

農業を行う上で自然災害は切っても切れない存在。自然災害を理由に栽培や経営をストップすることがないように、農業者もBCPを作成するのが当たり前の時代だと思っています。

静岡県浜松市 有限会社カワシマハネー
代表 河島雄一郎さん

経営規模：養蜂 30群



農業版BCPの様式が策定されたことに伴い、改めてBCPを作成することにしました。これにより計画を可視化し、頭の中で順序立てて考えやすくなりました。また、どういった所にリスクがあるのか改めてアンテナを張ることができました。作成したBCPは見やすい場所に掲示し、日頃から確認できるようにしています。

農業は自然災害に対し、決まった対策がないように感じています。情報交換のためにも、市の認定農業者協議会でリスク管理の勉強会を自ら主催するなど、農業版BCPの作成を周囲に勧めています。

農業版BCP作成者の声



北海道河東郡音更町ノーサンファーム株式会社
代表取締役社長 田中秀一さん

経営規模：搾乳牛105頭

年に一度の社内アンケートで、**社員が心配しているリスクに自然災害**があり、災害発生時の対応を決めておくために農業版BCPを作成しました。

農林水産省が提供している様式に沿って作成することで「備蓄品の状況」など、**できるだけ抜け漏れが無いように考える**ことができました。**早速、社員に共有**しています。

自然災害は広域に及ぶ可能性があるので、避難できる農場や移動経路、飼料の輸送経路などを決めておき、**情報共有することは意義がある**と思います。

埼玉県東松山市 有限会社 金井塚園芸
代表取締役 金井塚良行さん

経営規模：ガーデニング用の花苗1ha（ハウス20棟）



大雪や台風で被害を受けたことがあり、**BCP策定の必要性**を感じていたので、関連セミナーに参加を決意しました。

以前、大雪でハウスに被害を受けたときは、**体力、時間、お金に限りがある中**で、早く元に戻さなければと必死でした。今後もしものことが起こった場合には、農業版BCPを作成したので、**体力的・精神的に余裕**が生まれ、経営品目を変えるなど**上手く立ち回れる自信**があります。**BCPはお金のかからない保険**だと思いました。

農業版BCP作成者の声



青森県南津軽郡大鰐町 吹田準浦さん

経営規模：りんご2ha、トマト0.4ha（20棟）

近年は様々な自然災害が増えている中、農業版BCPの作成により、改めて予防策が事前にイメージできました。特に「**インフラ被害による想定と代替手段**」の検討は**今後に役立つ**と思います。また、紙面に残すことで**作業員とも共有ができる**ので作成して良かったです。

地域でしっかりと災害に対する対策を取って、協力して農業を継続していくためにも、**近隣の農業者にも農業版BCPの作成を勧めたい**と思います。

埼玉県八潮市 株式会社しゅん・あぐり
代表取締役 臼倉正浩さん

経営規模：小松菜1ha、キャベツ1ha、春菊50a、
ニンジン50a、ブロッコリー50a



農業版BCP策定セミナーで言われた「**もしもの時、各自の判断で自分の命を守ることが最優先**」という言葉が印象に残り、農業版BCPを作成しました。作成は**従業員と一緒に**行うことで、河川の氾濫時における**危険な箇所の共有**や災害の際の**担当者の役割分担**を行うことができました。

事業再開においては、露地栽培より、売上げが多く**資金確保が可能な園芸施設栽培を優先**することにしました。農業版BCPを作成することで、災害の際に何をすべきか、**判断スピードが速くなる**と思うので、作成して良かったです。